

# 「全国都市再生のための緊急措置 ～稚内から石垣まで～」の検討状況

# 「全国都市再生のための緊急措置～稚内から石垣まで」 の進捗状況及び今後の展開

## 1 「全国都市再生のための緊急措置」の進捗状況

- (1) 本部決定（平成14年4月8日）に基づき、地方公共団体等から提案募集（840件程度の応募）
- (2) 全国都市再生に関する総理主催の首長・有識者懇談会（平成14年12月10日開催）で、先進的な取組について意見交換（別添1）
  - ・稚内市、栃木市、犬山市、松山市、臼杵市
- (3) 内閣官房が中心となり、関係省庁と地方公共団体等で、以下に掲げる協議会等の検討体制を構築し検討開始（参考資料1）

### 「歴史的たたずまいを継承した街並み・まちづくり協議会」

- ・参加地方公共団体：函館市、会津若松市、佐原市、金沢市、岐阜県古川町、犬山市、京都市、奈良市、萩市、愛媛県内子町、臼杵市

### 「防犯まちづくり協議会」

- ・地区協議会設置都市：仙台市、足立区、藤沢市、春日井市、東大阪市、神戸市

### 「企業と防災に関する検討会議」

- ・構 成 員：日本経済団体連合会、学識経験者、東京都、名古屋市、大阪市、大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会、名古屋青年会議所、旧居留地連絡協議会（神戸市）

### 「高齢者の安心生活協議会」

- ・参加地方公共団体：伊達市、群馬県、高崎市、東京都、千代田区、品川区、北区、神奈川県、高浜市、岐阜県、兵庫県、神戸市、福岡県、北九州市

### 「都市観光地域別検討会」

- ・検討会設置都市：稚内市、岐阜県神岡町、玉野市、松山市、石垣市

### 「環境共生まちづくり関係府省連絡会議」

- 2 今後、既に設定したテーマに加え、順次、新たなテーマ設定を行い、追加的な提案募集などを通じた共通課題の整理を行うとともに必要な検討体制を構築し、地方公共団体等の提案を具体化する。

# 歴史的なたたずまいを継承した街並み・まちづくり協議会

(平成15年1月9日設置)

## 1. 目的

歴史的なたたずまいのある街並み・まちづくりを行うため、安全性・利便性を確保しつつ、たたずまいを継承した建物の更新や通りの景観改善等を図るとともに、これを利活用し地域活性化を図る。

このため、共通する課題を抽出し、その解決を図る。

## 2. 協議会メンバー

文化庁、経済産業省、国土交通省、本部事務局

函館市、会津若松市、佐原市、金沢市、古川町、犬山市、京都市、奈良市、萩市、内子町、臼杵市

## 3. 検討内容

### (1) 建築物等に関する規制の活用・見直し

伝統的建造物群保存地区、建築基準法の規制、屋外広告物規制 等

歴史的なたたずまいを継承するための建築規制の弾力的運用

- ・ 伝統的建造物群保存地区制度の活用による規制の強化・緩和
- ・ 木を使用しつつ、防火性能を確保するための仕様の実現
- ・ 全国一律の規制（準防火地域等）にかえて、地域状況に応じ条例による規制を導入



・  
・

## ( 2 ) 電線類の地中化等通りを中心とした景観整備・改善

電線類の地中化、現状の道路や街並みを配慮した道路計画、景観整備事業の活用 等

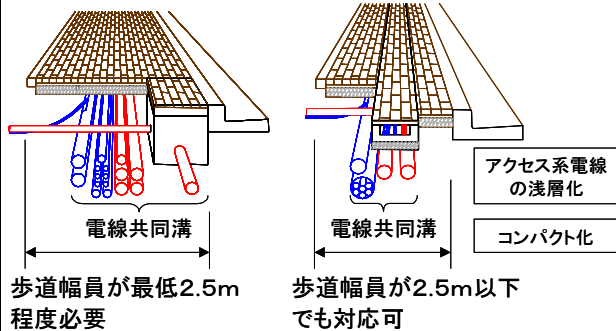
コンパクトで低コストの電線類の地中化システムの導入

街並みを大きく改変するおそれのある都市計画道路の拡幅計画の見直し

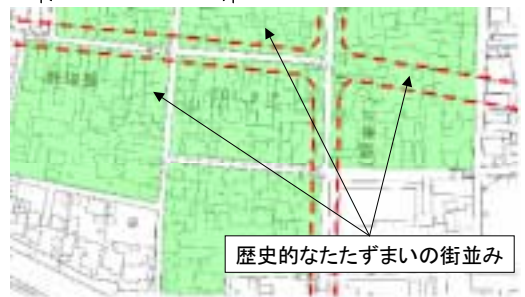


【現行】

【新システムの電線共同溝】



現都市計画道路幅 (幅員16m)



歴史的なたたずまいの街並み

⋮

## ( 3 ) 建築物や通り等ストックの活用による地域活性化方策

都市観光・交流の推進、商業・都市型新事業の導入、都心居住の推進、水辺空間の活用の促進 等

民間、NPO、地方公共団体等によるストックの利活用の支援方策を検討

SOHO



デイサービスセンター



住宅



⋮

# ■ 防犯まちづくり協議会

## 1. 目的

ひったくりや住宅への侵入犯罪など身近な犯罪が特に増加しており、住民の体感治安も悪化する傾向にあることから、犯罪が起こりにくく犯罪に対して抵抗力のあるまちづくりについて検討。

## 2. 検討内容

関係省庁協議会を設置し、全国のモデルとなる地区を選定（平成14年11月）

### 関係省庁協議会

警察庁、文部科学省、国土交通省、本部事務局

### モデル地区

市街地の多様性等に配慮して選定

まちなかの商住混在地区（仙台市、藤沢市）、大規模住宅団地を含む地区（東大阪市）、密集市街地（春日井市）、都市開発事業が予定されている地区（足立区）、郊外住宅地区（神戸市）

各地区において、まちづくり行政部局、学校関係者、警察、住民代表など地域の実情に応じた関係者が一体となって防犯まちづくりの検討を行なうための協議会を構成（平成15年1月現在4地区で設置済み）

### 検討の具体例（東大阪市の場合）

- ・ 専門家の派遣による現状分析、対策の検討
- ・ 地域住民等の自主防犯体制の確保及びその支援方策
- ・ 住宅、公共施設、学校について、照明や見通しの確保など、犯罪を抑制するような整備・維持管理手法 等

各地区協議会の検討をふまえ、関係省庁協議会において、必要な推進方策を検討

# ■ 企業と防災に関する検討会議

(平成14年12月17日設置)

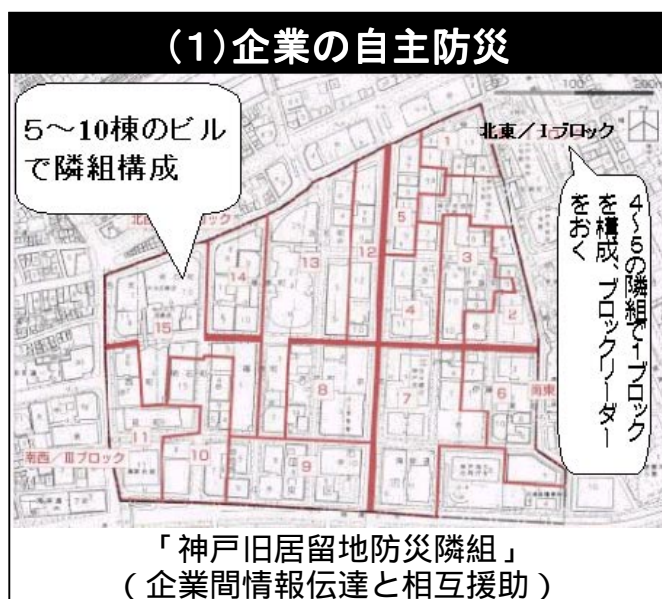
## 1. 目的

地域防災力の向上を図る上で、企業による防災・危機管理活動も重要であることに鑑み、企業関係者、有識者及び地方公共団体間で意見交換を行い、地域における企業防災の役割を重視した新しい施策体系を構築するため、防災担当大臣主催による検討会を開催する。

## 2. 検討会議メンバー

日本経済団体連合会、学識経験者、東京都、名古屋市、大阪市、大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会、名古屋青年会議所、旧居留地連絡協議会（神戸市）

## 3. 検討内容



## 全国都市再生に関する

### 首長・有識者懇談会（平成 14 年 12 月 10 日開催）

#### 1．開催趣旨

「稚内から石垣まで」の全国の都市を対象とした全国都市再生を進めていくにあたり、課題の抽出・解決に向けた施策の参考とするため、小泉内閣総理大臣が、全国の都市に先駆けて既に具体的な取り組みに着手している地方公共団体と有識者から、直接、意見を聴取するための懇談会を開催。

#### 2．各市長の意見開示内容（骨子）

稚内市 横田市長

交通結節点の連携強化と新たな観光拠点の形成 等

栃木市 鈴木市長

蔵等の歴史的な資源や自然環境を活かしたまちづくり 等

犬山市 石田市長

城下町の歴史的資源を活かし、歩いて巡るまちづくり 等

松山市 中村市長

まち全体をフィールドミュージアムとして「坂の上の雲」を展開 等

臼杵市 後藤市長

不便でも愛着を持ってメンテナンスする「待ち残し」活動 等